



# AI-PAC LAB. の使い方

# 事例研究支援アプリ



AI-PAC LAB.

戦略的創造研究推進事業科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム採択  
「市民科学とパーソナルデータを基盤とした発達障害支援の臨床の知の共創化」プロジェクトで開発



AI-PAC LAB.

2021/11/27

蓋があかない場合の要求行動の支援



療育センター 公認心理師  
藤仁美

主たる診断名

自閉症スペクトラム

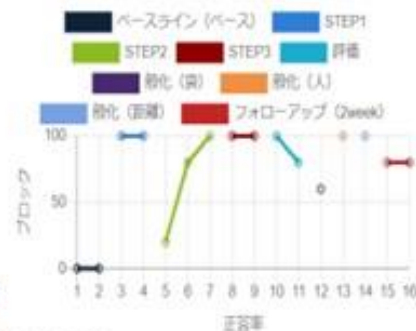
標的行動分類

要求

考察

メモ

結果



グラフの数値をもとに、  
効果量が計算されます。

効果量判定

TAU検定

100%

PROBE検定

100%

大いに効果あり

もっと見る

## ● AI-PAC LAB.とは？

NPO法人ADDSが開発した、臨床現場の事例研究をサポートするアプリです。事例が蓄積されデータベース化することで、支援者間で知恵を共有できます。また、科学技術を活用した解析を行い、新しい知見を見出すことも可能です。

## ● AI-PAC LAB.で出来ること

✓項目に沿って選択・入力すると事例研究レポートが完成

✓自動でグラフ化

✓「効果量」の自動計算と効果量判定

✓共有やレビューコメント等のSNS機能



AIPAC-LAB. は、福祉や心理領域などの対人支援において、支援方法や効果の可視化をサポートするアプリです。ユーザー登録で、無料で利用できます。



AI-PAC LAB. ユーザー登録 [はこちら](https://ai-pac.adds.or.jp/report_users/sign_up)  
[https://ai-pac.adds.or.jp/report\\_users/sign\\_up](https://ai-pac.adds.or.jp/report_users/sign_up)

## 主な機能

非公開のマイレポート作成機能を使って、自身の支援を記録し、自動で効果判定ができます。レポートを他のユーザーに公開し、専門家からのコメントや助言をもらうことも可能です。

## AI-PAC LAB.でできること

- ✓項目に沿って入力すると事例レポートが完成
- ✓数字を入れるだけで自動でグラフ作成、効果を可視化
- ✓「効果量」の自動計算と効果判定
- ✓非公開のマイレポート機能で自身の実践を蓄積
- ✓レポートを公開し、SNS機能で助言やコメントをもらえる
- ✓レポート公開時は、安心・安全の査読つき

今後は、使い方のワークショップ等も開催していきます。授業や研修ツールとしても、ご活用下さい。

本件のお問い合わせはこちら 特定非営利活動法人ADDS <https://adds.or.jp/contact/>

\*本アプリは、戦略的創造研究推進事業科学技術イノベーション政策のための科学研究開発プログラム採択「市民科学とパーソナルデータを基盤とした発達障害支援の臨床の知の共財化」プロジェクトで開発を行いました。

# ①アカウント登録を行います

必ずプライバシーポリシー及び利用規約を読み、同意の上登録をお願いします

## アカウント登録

名前\*

プロフィール写真

選択されていません

中央が切り取られた画像が使われます

施設種類\*

6文字以上

パスワード（確認用）\*

[プライバシーポリシー](#) に同意する

[利用規約](#) に同意する

[ログイン](#)

アカウント確認のメールを受け取っていませんか?

## ② ログイン画面からログインする

アドレスとパスワードの入力で入ることができます

### ユーザー ログイン

ID

パスワード

ログインを記憶する

ログイン

[パスワードを忘れましたか？](#)

[アカウント確認のメールを受け取っていませんか？](#)



レポート

■ みんなのレポート

■ 自分のレポート

■ ブックマーク

設定

✎ ユーザー情報編集

⇄ ログアウト

・実践レポートは、「みんなのレポート」と「じぶんのレポート」の2種類あります。

・左上の三本線のメニューボタンから選択できます。

研究名\*

### 対象者プロフィール

月齢

0歳 ◆

0ヶ月 ◆

性別\*

 男 女

知的障害

④ 記入した後、  
「登録する」を押す

### ③ ホーム画面にある「実践レポートを書く」から入力します

**実践レポートを書く**

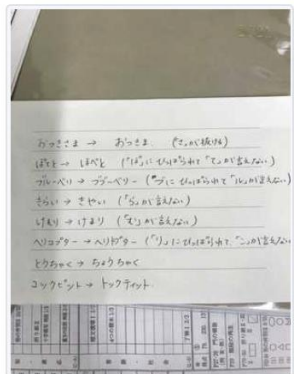
2021/10/23  
test

**丸** 民間児童発達支援事業所 公認心理師  
丸瀬

**主たる診断名**  
自閉症スペクトラム

**標的行動分類**  
要求

**考察**  
(未入力)



**結果**



セラピー日	BL (ベース)	介入1 (身体+音声+モデル)	介入2 (音声+モデル)	介入3 (モデル)	プロープ
1	0	0	0	0	0
2	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0
4	0	0	100	0	0
5	0	0	100	0	0
6	0	0	50	0	0
7	0	0	40	0	0
8	0	0	60	0	0
9	0	0	60	0	0
10	0	0	80	0	0
11	0	0	90	0	0
12	0	0	80	80	0
13	0	0	70	70	0
14	0	0	80	80	0
15	0	0	90	90	0
16	0	0	90	90	90
17	0	0	80	80	80
18	0	0	80	80	80

**効果量判定**

TAU判定 100%      PND判定 100%

👉 大いに効果あり

もっと見る

☆ブックマーク      レビューを書く

### ③ 項目ごとに入力していきます。

研究名\*

対象者プロフィール

月齢

0歳 ⇅ 0ヶ月 ⇅

性別\*

男

女

知的障害

主たる診断名\*

未診断

自閉症スペクトラム

注意欠如・多動症

学習障害

発達性協調運動障害

肢体不自由

ダウン症

視覚障害

聴覚障害

内部障害

精神障害

難病

その他

重度

中度

軽度

境界域

なし



## 実践内容

目的\*

標的行動分類\*

標的行動詳細

標的行動をどうしたいか\*

- 増やしたい  
 減らしたい

支援方法

効果量の計算に影響  
があるため、正しく  
選択してください。

- ✓ 視覚情報
- 手先操作
- 自己統制
- 模倣
- 運動
- 注意・流暢性
- 遊び
- 社会性
- 要求
- 受容言語
- 表出言語
- 会話
- 数
- 文字
- スクールスキル
- 生活スキル

- ✓ プロンプトフェーディング
- シェーピング
- 他行動分化強化
- スケジュール
- ルール提示
- トークンシステム
- チェイニング
- バックワードチェイニング

支援方法詳細

プロンプト

プロンプト詳細

強化子

強化子詳細

## 結果

グラフデータ

X軸ラベル

セラピー日

Y軸ラベル

正反応率

+データ追加



## 結果

グラフデータ

X軸ラベル

セラピー日

Y軸ラベル

正反応率

+ データ追加

データ名

BL

値

10,20,20,0,10,30

ベースライン

データ名

介入1(身体+音声+モデル)

値

80,100,100,90,100

ベースライン

データ名

介入2(音声+モデル)

値

70,60,80,100,90,100

ベースライン

■ BL (ベース) ■ 介入1(身体+音声+モデル) ■ 介入2(音声+モデル)

正反応率

60

50

40

30

20

10

0

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

セラピー日

データ追加を押し、  
値のところに「数字, 数字, …」と  
入力していくと  
下のグラフに反映されていきます。

+ データ追加ボタンを押して  
項目を増やし、  
先ほどと同様に入力していきます。

ベースラインデータ  
の場合は、チェックボックスに  
チェックを忘れずに。  
\* 効果量計算に必要となります



## 結果の詳細

← → Paragraph ▼ **B** *I* ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡

P

## 考察

← → Paragraph ▼ **B** *I* ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡ ≡

P

### 添付ファイル

一番上の画像/PDFファイルは一覧に表示されます

+ 追加

添付ファイル

ファイルを選択 選択されていません

🗑️

一番上の画像/PDFファイルは一覧に表示されます

+ 追加

**注意！**

✓みんなのレポートとして公開する場合のみ、日付をいれてください。事務局の査読後、公開されます。  
✓日付を入れずに登録すると、自分のレポートとして登録されます。

公開日

公開日を空にすると下書きとして保存されます

参照論文

登録する

④ 記入した後、  
「登録する」を押します

# ⑤ レポートが完成します（入力事例）

2021/07/26  
自閉症スペクトラム症がある児童への要求行動の支援

お 療育センター 公認心理師  
お試しアカウント

グラフの数値をもとに、  
効果量が計算されます。



効果量判定

TAU判定

100%

PND判定

100%

👉 大いに効果あり

合わせている8センチ×8センチの写真を用  
イン、介入共に5試行を1ブロックとした。  
お菓子を参加児の正面に掲げて、10秒待っ  
た。10秒間にちょうどサインが出た場合は、正答とした。・正  
答率100%が2ブロック連続でつづいたら、次の介入フェーズに移  
行した。・



みんなのレビュー

結果: ✓一定の効果があった / 月齢: 74ヶ月 / 知的障害: 重度 / 主たる診断名: 注意欠如・多動症 / 評価者: 熊仁美  
3か月くらい実施し、ある程度できるようになりましたが、まだ100%とはいかないよ

結果: 🌟大いに効果があった / 月齢: 42ヶ月 / 知的障害: 中度 / 主たる診断名: 自閉症スペクトラム / 評価者: 熊仁美  
1カ月で習得してくれました。分かりやすかったようです。

もっと見る を押すと...

もっと見る

# 細かくデータを見ることができます。

## 自閉症スペクトラム症がある児童への要求行動の支援



療育センター 公認心理師  
お試しアカウント

### 公開日

2021/07/26

## 対象者プロフィール

---

### 月齢

36ヶ月

### 性別

男

### 知的障害

境界域

### 主たる診断名

自閉症スペクトラム



## 実践内容

### 目的

無発語のASD児童に対し、ジェスチャーを介した物の要求行動を教えることを目的とした。

### 標的行動分類

要求

### 標的行動詳細

参加児が好むお菓子に対して、手のひらを合わせて要求する行動（「ちょうだい」サイン）

### 標的行動詳細

増やしたい

### 支援方法

プロンプトフェーディング

### 支援方法詳細

視覚プロンプトの即時提示から、徐々に提示のタイミングを遅らせることで、フェーディングを行った

### プロンプト

視覚 プロンプト詳細

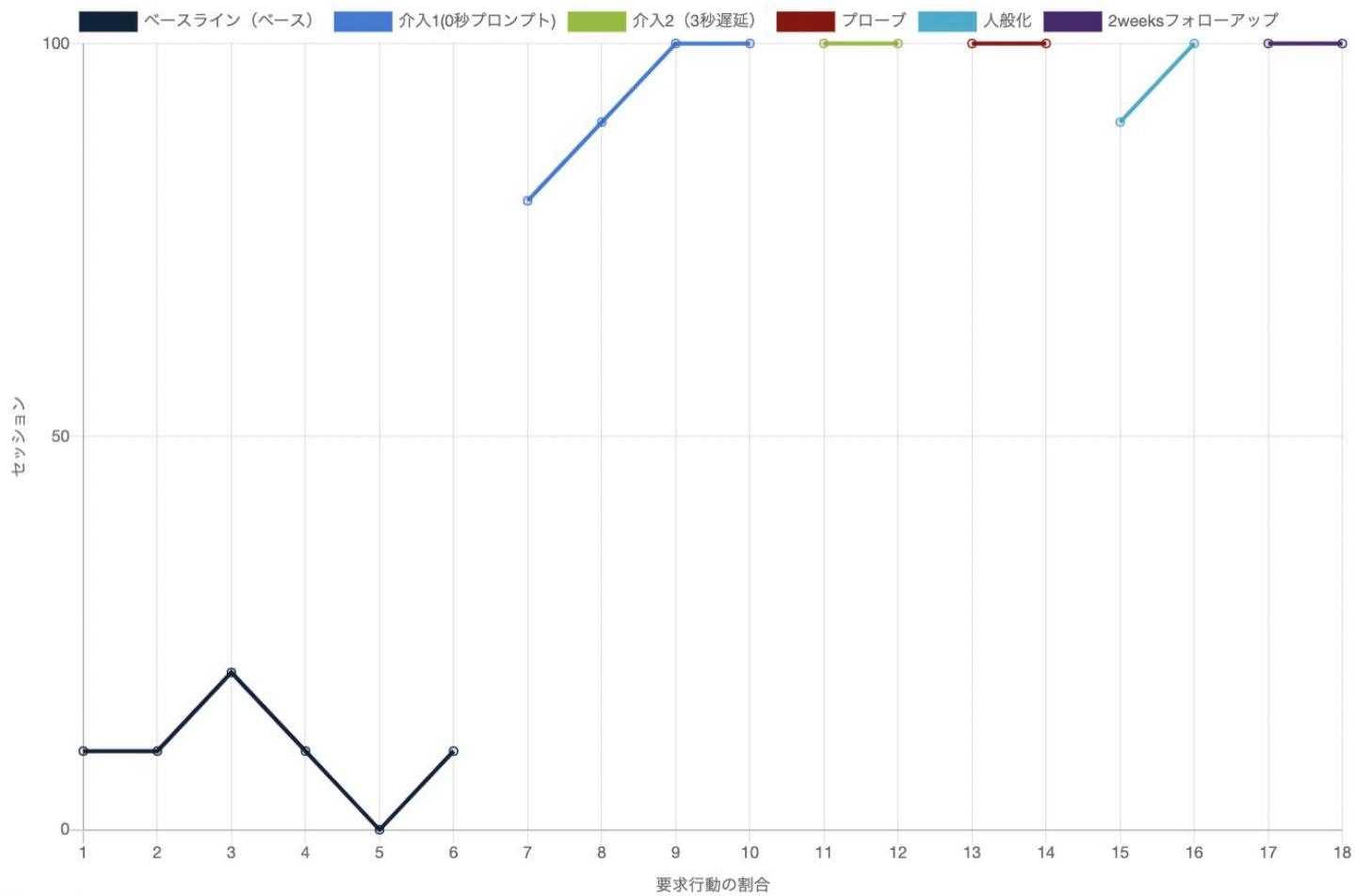
手を合わせている様子の写真を見せる視覚プロンプトを活用した

### 強化子

食べ物 強化子詳細

ラムネ、麦チョコ、グミ

# 結果



## 効果量判定

TAU判定  
**100 %**

PND判定  
**100 %**

🏆 大いに効果あり

## 考察

for examle/////

### 刺激

手を合わせている8センチ×8センチの写真を用いた。

### 手続き

ベースライン、介入共に5試行を1ブロックとした。

### 方法

- ・ ベースライン：お菓子を参加児の正面に掲げて、10秒待った。10秒間にちょうだいサインが出た場合は、正答とした。
- ・ 正答率100%が2ブロック連続でつづいたら、次の介入フェイズに移行した。

### 添付資料

ダウンロード.jpg



### 参照論文

自閉症児の音声言語要求の獲得と拡張に及ぼすPECSとマトリックス訓練の効果 熊仁美, 山本 淳一  
[https://www.jstage.jst.go.jp/article/tokkyou/51/5/51\\_407/\\_article.html](https://www.jstage.jst.go.jp/article/tokkyou/51/5/51_407/_article.html)

### みんなのレビュー

結果: ✓一定の効果があつた / 月齢: 74ヶ月 / 知的障害: 重度 / 主たる診断名: 注意欠如・多動症 / 評価者: 熊仁美

3か月くらい実施し、ある程度できるようになりましたが、まだ100%とはいかないです。

結果: ✖大いに効果があつた / 月齢: 42ヶ月 / 知的障害: 中度 / 主たる診断名: 自閉症 / 評価者: 熊仁美

1カ月で習得してくれました。分かりやすかつたです。

みんなのレポートに公開するとレビューをもらえます

参考になりそうなレポートはブックマークがおすすめです

☆ブックマーク(1)

📝 レビューを書く